

各 位

会 社 名 株式会社タスキホールディングス
代表者名 代表取締役社長 柏村 雄
(コード番号: 166A 東証グロース)
問合せ先 執行役員 経理部長 狩野 雄一郎
(TEL 03-6447-0575)

株式取得による子会社化及び特定子会社の異動に関するお知らせ

当社は、2024年4月22日開催の取締役会において、資産コンサルティングベンチャーの株式会社オーラ（以下、「オーラ社」）の株式を取得し、子会社化することについて決議しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

なお、同社の資本金の額が当社の資本金の額の10%以上となるため、オーラ社は当社の特定子会社に該当いたします。

記

1. 株式の取得の理由

当社は不動産業界のDX化を推進し、業界特化型のテクノロジー活用を強みとする株式会社タスキと、東京都を中心に、レジデンスや商業ビル・物流施設などを手がける総合不動産デベロッパーである株式会社新日本建物の経営統合により誕生いたしました。当社グループは中長期的な成長戦略の主要戦略の一つに「インオーガニック戦略」を掲げ、ライフプラットフォームとしてのさらなる成長を目指しております。

昨今の日本経済では物価や不動産価格の上昇が著しく、また、新NISA制度の開始など個人の資産運用機会も非常に多くなっております。当社は、社会のニーズに応え資産に関する幅広い課題の解決に取り組んでいくにあたり、当社グループのサービスの一層の充実・成長を実現するためには、さらなる組織体制の強化が必要であると考えております。

オーラ社は提案力・営業力を強みとした資産コンサルティング事業を営んでおります。顧客の資産運用ニーズへの対応を図る目的から、特に不動産活用の提案、不動産仲介、不動産買取、不動産に関連した商品の販売を行っております。社員数17名、設立から1年8ヶ月と若い企業ながらも、2023年には20件の不動産活用におけるコンサルティングを実施いたしました。

当社グループがオーラ社とともにサービスの多角化と提供価値の向上に取り組むことによって、人々の資産活用を促進し、不動産の適切な価値流通に寄与することができます。また、オーラ社のコンサルティングのなかで、個人資産家および企業オーナー等の富裕層に特化した多様なニーズに対応できるウェルス

アドバイザーサービスへの事業展開が強化されます。

また、日本が抱える問題である空き家に対する国策も本格化しており、2024年4月1日には相続で不動産を継承した場合の登記申請が義務化されました。オーラ社は独自の空き家情報プラットフォームのデータ件数を2026年までに約20万件まで拡張させていくことを目指しており、グループ全体でのデータ活用による事業機会の創出と、資産コンサルティング事業の成長を目指しております。

純金融資産保有額が1億円以上の富裕層・超富裕層の世帯数は、2005年では86.5万世帯であったものがアベノミクスの始まった2013年以降、一貫して増加を続けており、2021年には148.5万世帯と大幅に増加し、その保有資産は364兆円まで成長しております^(※)。日本国内の富裕層数が増加していくなかで、資産形成や相続税対策ニーズも増加し、個人の資産形成に資するさらなる付加価値の提供に取り組むことが当社グループの企業価値向上と持続的成長を追求することになるものと判断し、本件株式取得を決定いたしました。

今後、両社の経営資源や経験を共有し、人々の資産価値向上をサポートし、不動産価値流通の促進による業界全体の成長・発展に寄与するよう努めてまいります。

なお、今回オーラ社の約71%の株式を取得し子会社化するものですが、約71%とした理由は、オーラ社の役職員が自社の株式を一定程度保有することで、経営に継続関与するインセンティブを付与し、役職員の収益貢献に対する継続的なコミットメントを高めることを企図したものであります。

(※) 野村総合研究所のデータを基に当社算出

2. 株式を取得する会社の概要

(1) 名 称	株式会社オーラ	
(2) 所 在 地	東京都港区北青山二丁目7番9号	
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 横山 陽	
(4) 事 業 内 容	資産コンサルティング事業 空き家情報プラットフォーム事業	
(5) 資 本 金	480百万円	
(6) 設 立 年 月 日	2022年8月8日	
(7) 大株主及び持ち株比率	横山 陽 (15.9%)	
(8) 上場会社と当該会社との関係	資本関係	該当事項はありません。
	人的関係	当社連結子会社の従業員1名が当該会社の取締役を兼務しております。また、当社の従業員が当該会社の監査役を兼務しております。
	取引関係	当社連結子会社と当該会社は、事業上の取引実績があります。
(9) 当該会社の最近3年間の経営成績及び財政状態、並びに進行期の着地見込み		
決算期	2023年4月期	2024年4月期(見込み)
純資産	301百万円	—
総資産	1,376百万円	—
1株当たり純資産	75.39円	—

売上高	407百万円	4,900百万円
営業利益	149百万円	510百万円
経常利益	147百万円	480百万円
当期純利益	101百万円	330百万円
1株当たり当期純利益	55.37円	—
1株当たり配当金	—	—

※当該会社の設立以降の経営成績及び財政状態を記載しております。

※2024年4月期の見込み数値につきましては、発表日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいて作成しており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

3. 株式取得の相手先の概要

(1) 名称等	個人14人、法人9社 相手先との守秘義務により、開示を控えさせていただきます。
(2) 上場会社と当該個人、法人との関係	相手先のうち、個人5人、法人3社については当社株式を所有しております。その他、当社との間には、記載すべき資本関係・人的関係・取引関係はありません。

4. 取得株式数及び取得前後の所有株式の状況

(1) 異動前の所有株式数	0株（議決権所有割合：—%）
(2) 取得株式数	4,265,000株（議決権所有割合：71.1%）
(3) 取得価額	株式会社オーラの普通株式 2,345百万円 デューデリジェンス費用等（概算額） 2百万円 合計（概算額） 2,347百万円
(3) 異動後の所有株式数	4,265,000株（議決権所有割合：71.1%）

5. 日程

(1) 取締役会決議日	2024年4月22日
(2) 契約締結日	2024年4月22日
(3) 株式取得実行日	2024年4月22日

6. 本件による業績への影響

本件株式取得に伴い、オーラ社は当社の連結対象となる予定であります。オーラ社の当社連結子会社化以降の年間売上高（2024年5月から2025年4月までの12ヶ月）は約99億円を見込んでおります。また、当社の2024年9月期の連結業績に与える影響につきましては、現在精査中ではありますが、2024年5月から9月までの5ヶ月分のオーラ社の業績を取り込む予定であり、売上高が約31億円増加する見込みです。

なお、のれん等が発生する見込みですが、その金額及び会計処理等につきましては現在精査中です。今後、開示が必要となる場合には速やかに開示いたします。

以上